

サッカーに燃える青春

石川璃偉さん（18歳）
 判治実紀さん（18歳）

「それが今に生きていっていると思えます。FC東郷に入っていないければ、今サッカーをしていないかも」とはにかみます。

夢の舞台

高校サッカーをしている人なら誰もが目標とする選手権大会では、判治さんはベンチ入りはしましたが、出場機会には恵まれませんでした。

東郷中学校を拠点に活動するサッカークラブFC東郷出身の石川璃偉さんと判治実紀さんは、昨年末に行われた第97回全国高等学校サッカー選手権大会に愛知県代表として出場した東邦高等学校サッカー部に所属しています。

今回は、二人にこれまでのサッカー人生についてお話を伺いました。

二人の原点

石川さんは、学生時代にサッカーをやっていたお父さんと小さい頃から清水公園でサッカーをし、小学2年でFC東郷に入団しました。判治さんは、サッカーをしていた8歳年上のお兄さんに憧れて3歳でFC東郷に入団しサッカーを始めました。

FC東郷での思い出を聞くと判治さんは、「週5日のとても厳しい練習も嫌ではなかったし、むしろ楽しかった」

家族への思い

試合の送迎など、家族にはかなり負担をかけているのでも感謝している

石川さんは「試合に出ることができず、とても悔しかったです。でも、選手同士だから分かることもあるので、スタンドから精一杯応援や指示を送りました」と話します。

ると二人は口を揃えます。特に石川さんは、



左から石川さん、判治さん

「今回、大きなケガで入院をしました。心配させたこと、毎日病院へ通ってくれたことへの感謝はこの先、サッカーで恩返ししたい」と力を込めます。

それぞれの道

石川さんは大学に進学し、プロを目指します。「サッカーで生きていこう」と思っています。海外でもプレーしたいし、日本代表としてワールドカップでも勝利に貢献したい」と目を輝かせます。判治さんは、「建築士の資格を取得し、起業したいと考えています」と将来を見据えます。大学進学後は、子どもたちの育成というフィールドでサッカーを続けるそうです。

東郷町で育ち、共に歩んできた二人ですが、これからはそれぞれの道を歩んでいきます。

サッカーを通じて多くのことを学んだ二人の、未来へのキックオフ。挑戦はこれからも続きます。

そだ 育っています!

No. 434

誠ノ介、いつもゴルフお疲れ様。毎日練習に行く姿に、頑張ろうって力が湧くよ。世界をとった誠ノ介の、素敵な笑顔が見たいです。

しっかり者でオシャレが大好きな瑠愛ちゃん、いつもみんなを助けてくれてありがとう。いっぱい遊んで挑戦して、元気に育ってね。

いつまでも今みたいに仲よし兄弟でいてね。



誠ノ介くん (6歳)

瑠愛ちゃん (4歳)

福井 誠之さん・愛弓さんの
 長男、長女（清水）